

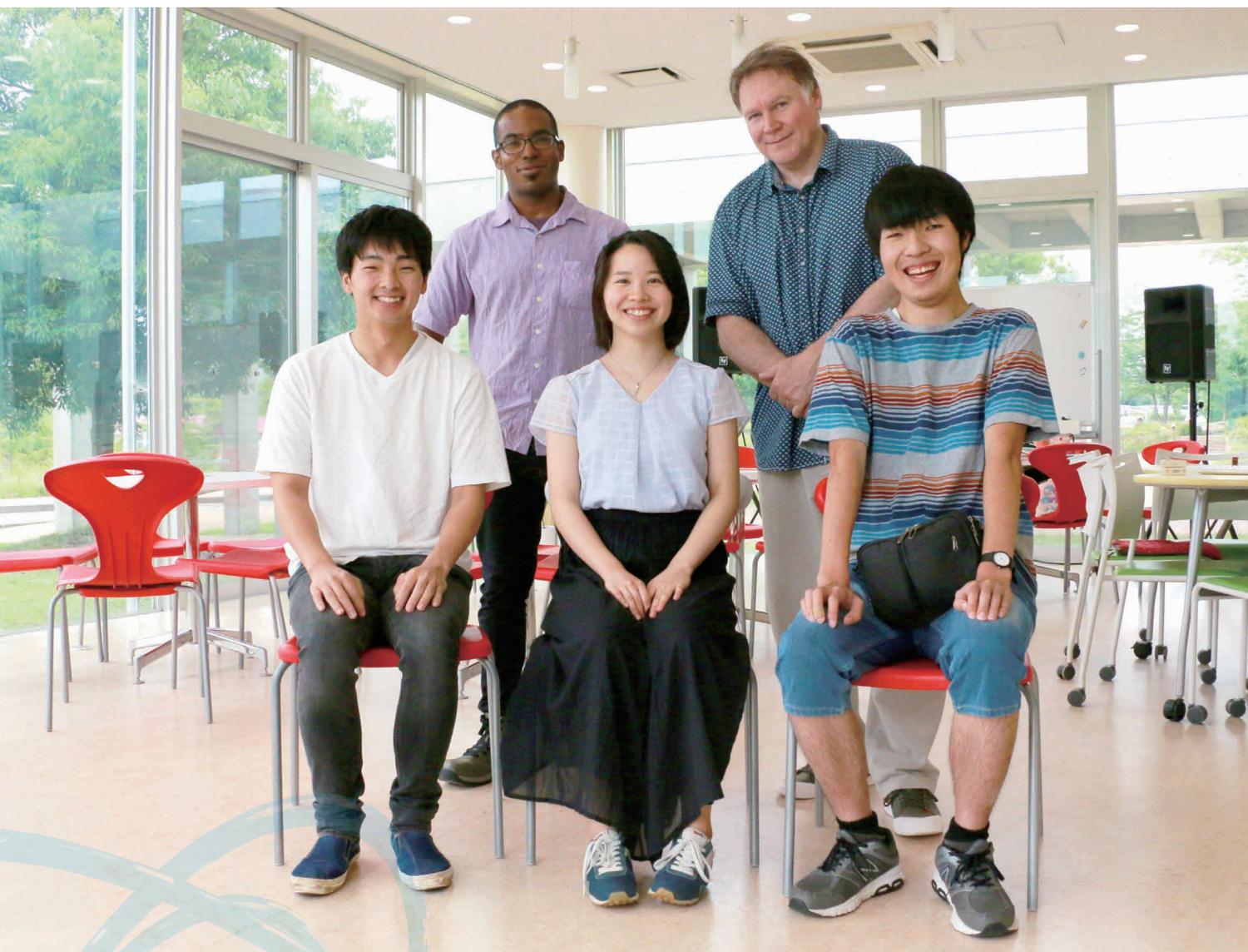


環境大レポート

第33号

Aug. 2019

K A N K Y O D A I R E P O R T



特集

海外留学を経験した学生に インタビューしました!

23

ESSAY

「学び」は日々進化している 経営学部 豊田 寿行 准教授

4

人事報告

着任挨拶

5

研究紹介

重田研究室へご招待♪ 経営学部 重田 祥範 准教授
「戦略的」に生きることの重要性を理解し、努力し続けることで得られる達成感を味わってほしい
経営学部 光山 博敏 准教授

6

就職支援

就職・進学先一覧

7

国際交流

国際交流プログラム/留学生支援

8

クラブ&サークル活動・学友会活動報告

剣道部・ヤギ部/学友会総会を開催

9

プロジェクト研究

鳥取県における環境コミュニケーション

10

キャンパスニュース

2019年4月~7月

11

お知らせ

PRコーナー/主なスケジュール 2019年9月から2020年3月まで

12

海外留学を 経験した学生に インタビュー してみました!

本学では、英語スキル、コミュニケーション能力を身に付けるため、英語を楽しく学ぶことができる"英語村"を開設しています。実際に英語圏の国にいるような感覚で、英語のみを使用し、楽しいチャット(会話)やアクティビティ(活動)をおこなっています。また、留学希望者には、留学に向けての英会話能力向上を支援しています。そんな英語村に通う学生の内、2019年に海外留学を経験した学生3名にインタビューをしました。



おきの しゅんや
沖野 駿哉
(経営学部 2年生)

留学先 カナダ
期間 2019年2月28日
~3月30日



キャピラノ
つり橋

留学を決めた きっかけは何ですか?

英語留学には元来興味はありましたが、きっかけやタイミングはなかなかつかめずにはいました。そんなとき、英語を使うプロジェクト研究に参加し、英語村でプレゼンをしたときに担当の職員さんから声をかけていただき、留学へ踏み切りました。

留学期間中どのようなことを して過ごしましたか?

私が参加したプログラムでは、平日は大学の英語を学ぶ施設に通い勉強をしていました。日中は大学で授業を受け、授業が終わるとホストファミリーや友達と話したりどこかへ出かけたりといった生活でした。週末の休みには友達と一緒にカナダの観光地に向かい、ホストファミリーとゆっくり過ごしたりしました。

周囲の人とのコミュニケーションがさっぱりとるように努めれば、自分の好きなように過ごせる時間が多かったように感じます。

留学直前、どのような不安が ありましたか? また、実際に留学を経験して、 その不安は解消されましたか?

多くの人に当てはまるでしょうが、やはり言語力には不安がありました。現地の人と上手にコミュニケーションがとれる自信がなかったのです。その分、言語以外の面で悪い印象を与えてしまわないように、現地でのマナーなどについてはしっかり調べて留学に臨みました。

ほかに忘れ物はないかとかお金は足りるのかとか、不安に思うことは尽きませんでしたが、現地に到着するとそれどころではなくなりました。授業についていくことやホストファミリーやクラスメイトとコミュニケーションをとることにいっばいっばいで、不安を感じる余裕はすぐなくなりました。

コミュニケーションに慣れてきたころには素直に助けを求めることができるようになっていたので、言語力とともに自然と解消されていきました。

留学後、自分の中で 変化したことは何ですか?

一番大きく変わったと感じることは、自分を表現できるようになったことです。失敗や周囲との違いに臆せず、自分の意見を発表することに積極性が出てきたように感じます。

留学に行く前は人前で発言するのが怖くて、恥ずかしくて、人見知りで引っ込み思案なところがありました。しかし、留学中の経験を経て、自分を表現することへの躊躇は少なくなりました。伝えようとしなければ伝わらないという当たり前の事実を痛感できたからこその変化だと思います。

留学を検討している方への メッセージをお願いします。

とにかく行ってみましょう。心の準備ができてから、もう少し英語力がついてから、そんな風に考えて立ち止まっても機を逃すだけです。何一つ不安を抱えず留学に踏み切る人はいません。英語力をつけるために留学に行くのです。現地で充分なコミュニケーションがとれるのなら語学留学に行く必要はありません。不安はあるでしょう。しかし、自身の成長のために思い切って留学に行ってみましょう。周りが応援・サポートしてくれるので大丈夫です。日本に留まっていたはできない経験、得られないものが海を越えた先にはたくさんあります。

勇気を出して、ぜひ留学に臨んでみてください。きっと後悔はしないでしょう。



▲ 屋外での授業風景



▲ クラスメイト



もり みさ
森 美沙
(環境学部 3年生)

留学先 カナダ
期間 2019年2月28日
～3月30日

ホスト
ファミリーの
娘さんと



留学を決めた きっかけは何ですか？

中学のころからもともと英語は好きなのですが、特別できるわけでもなく英語を伸ばしたい気持ちはありつつも実際に行動に移すことができませんでした。

なにげなく聞きにいった語学研修プログラムの説明会で、実際に研修に参加した先輩方がとても堂々として、キラキラして見えました。ただ英語を伸ばすだけではなく、自分自身の成長にもつながることに魅力を感じました。英語を最大限に使って伸ばしたい、なかなか行動に移す一歩がでない自分から成長したい思いから海外留学を決めました。

留学期間中どのようなことを して過ごしましたか？

週末はホームステイ先のホストファミリーと一緒にのんびり過ごしたり、一緒に研修に参加したメンバーと観光やショッピングに行ったりしました。平日は宿題が多かったので学校から帰ってき

たら宿題とその日の復習はするようにしていました。私が通った学校のクラスは中国人や韓国人など、第一言語が英語ではない国の人たちが英語を学ぶところだったので英語しか皆と会話できる手段がなく、休み時間も英語で話していました。英語を楽しみつつ、学べた一か月でした。

留学直前、どのような不安が ありましたか？ また、実際に留学を経験して、 その不安は解消されましたか？

何よりも自分の英語が海外の人にしっかり伝わるのか、聞き取れて理解できるのが本当に不安でした。また、出かける際に交通機関をうまく使えるかどうか不安でしたが、ホストファミリーやクラスメイト、現地の方々が本当に優しく接してくれたおかげで安心して過ごせました。また、過ごしているうちにだんだん聞き取りが上達し、会話をより長く楽しく続けることができるようになりました。

留学後、自分の中で 変化したことは何ですか？

今回のカナダの語学研修は私にとって初めての海外で、滞在期間も一か月だったので自分の中では大きな決断でした。英語力はもちろん、以前はなかなか行動に移せなかった私ですが、ホストファミリーと話しているときに「ほかの人と違って良いし、やりたいことした方が人生楽しいし、カッコいいと思う」という言葉を聞いてから「とにかくやってみよう」と自分の興味があることに積極的に行動するようになりました。

それだけではなく夢に向かって毎日英語に向き合っていたクラスメイトを見て、英語をもっと伸ばしたいと英語に対する意欲も大きくなったと思います。



最終日
クラスメイトと
先生と一緒に

留学を検討している方への メッセージをお願いします。

留学に行くかどうか悩んでいる人も少なくないと思いますが、0.1%でも行きたいという思いがあれば留学に行くべきだと思います。

私は留学経験を通して物の見方が180度変わりました。留学をする前より英語を勉強するようになったのは、実際の留学でたくさんのお会いに恵まれたからだだと思います。ただ語学力を向上させるだけではなく、もしかしたら人生が変わる機会になるかもしれません。海外の文化や考え方にも触れ、刺激を受けることはきっと自分自身がパワーアップする一つの材料になると思います。

留学をするということは大きな決断だと思いますが、皆さんにも人生が変わるようなそんな素敵な経験してほしいと思います!!



▲ 大学に通っている学生さんと放課後話して仲良くなった



すだ まさき
須田 昌樹
(環境学部 2年生)

留学先 オーストラリア
期間 2019年2月15日
～3月11日

ホスト
マザーが作った
コテージパイ



留学を決めた きっかけは何ですか？

海外に行って常に英語を使って会話をすることで、日本に帰ってきてからも積極的に英語を学べるようになれると思った事と、留学中に自然公園やカランビン・ワイルドドライブ自然保護区に行くというプログラムがあったため、海外の自然公園や自然保護区に行くという自分の夢を叶えられるチャンスだと思ったのが留学を決めたきっかけです。

留学期間中どのようなことを して過ごしましたか？

ホームステイ先ではホストマザーと会話をしたり、テレビを一緒に見たりして過ごしていました。休日は一緒に留学した友人とオーストラリアの街並

みや店を見て回り、シーワールドや博物館にも行きました。平日は、ポンド大学からステイ先に下校する時にあえてバスに乗らずに徒歩で帰り、道中で日本では見られない野鳥や昆虫、無数に生えているユーカリを観察しながらゆっくり帰る時間がとても楽しかったです。

そして、留学のプログラムとして訪れたスプリングブルック国立公園内の恐竜時代から環境が変化していない Gondwana 多雨林を自分の足で歩けたことが、この留学の中で一番感動した出来事であり、一生思い出に残る経験でした。



▲ Gondwana 多雨林

留学直前、どのような不安が ありましたか？ また、実際に留学を経験して、 その不安は解消されましたか？

ホストマザーと英語で上手くコミュニケーションできるのが一番不安でした。しかし、実際はホストマザーがとても優しい人でジェスチャーなども使いつつしっかりと意思疎通ができて、一日目から安心して生活することができました。

留学後、自分の中で 変化したことは何ですか？

留学前より、英語を積極的に学べるようになったと思います。そして、将来オーストラリアにまた行きたいと思うと同時に、可能ならばオーストラリアで生活したいと思うようになりました。

留学を検討している方への メッセージをお願いします。

留学は外国語を学ぶだけではなく、行った先の国特有の文化や生活様式、自然環境など周りにあるもの全てが目新しく様々な刺激を受ける貴重な経験ができます。色々不安なこともあると思いますが、留学を検討している方にはぜひ、行った先でしか食べられないおいしい料理やそこでしか見られない美しい景色、その国の人との出会いや交流なども存分に楽しんできてもらいたいと思っています。

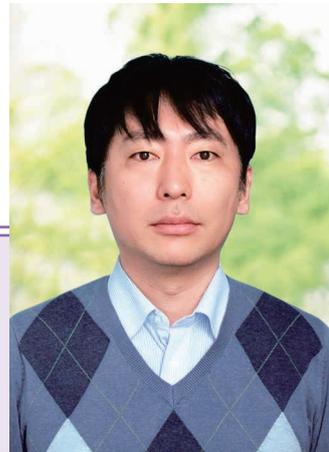


ホスト
マザーと



「学び」は日々進化している

経営学部
豊田 寿行 准教授



2020年といえば、東京オリンピックを思い浮かべるのではないのでしょうか。しかし、教育関係者は「教育改革」が頭に浮かびます。ひとことでこの教育改革を説明することは難しいのですが、簡単にいいますと、学校教育、入試、英語教育の3つが大きく変わります。そこで、来たる教育改革のうちで、学校教育の改革について考えてみたいと思います。

今回の学校教育の改革は「学び」の改革といえます。ここで、「学び」という言葉にどのようなイメージをもちますか？「何を学ぶのか」、「どのように学ぶか」、はたまた「学んだ結果、何が身につくのか」などをイメージすることが多いと思います。これまでの学校教育では「何を学ぶのか」に重きが置かれていました。しかし、「どのように学ぶか」、さらには、「学んだ結果、何が身

につくのか」まで要求しているのが今回の学校教育の改革の特徴のひとつです。

従来型の教育形態である知識伝達型の「講義」は「何を学ぶのか」に特化するものでした。そこで、「どのように学ぶのか」、そして、「学んだ結果、何が身につくのか」に対応するために学習者主体型学習である「アクティブ・ラーニング」が盛んに行われています。アクティブ・ラーニングは一方的に講義を聞くのではなく、学習者がグループで議論したり、プレゼンテーションをしたり、学習者同士で学んだことを共有する学習者の能動的な学びをいいます。アクティブ・ラーニングの導入によって、学習内容の定着率が向上し、獲得した知識や経験を応用する能力が身につくといわれています。

ここでアクティブ・ラーニング、つまり学習者が主体的に学ぶということは革新的な学びの変化ではありません。実は、これまでもずっと行われています。大学でいえば、研究室でのゼミ活動はまさしくアクティブ・ラーニングだといえます。ただ、アクティブ・ラーニングの比重を高めていく必要性を指摘しているのが今回の改革です。教育にたずさわるものとして、教育内容、教育手法等、日々、改善に努め、学生の成長を促進させることが重要です。そのためにも、「学び」の変化への対応が常に必要であり、そして、「学び」は進化し続けなければならないのです。

人事報告

着 | 任 | 挨 | 拶 | 本年4月より、4名の教員が着任いたしました。



本年4月に経営学部に着任いたしました。

担当科目は会計学入門、財務会計及び経営分析です。前職は、監査法人で勤務し、上場企業の会計監査を担当していました。生まれは和歌山県で、大阪、ドイツ、東京で勤務し、監査で全国各地の会社を回りました。会計学は、あらゆる分野で必要とされ、社会人として必要な知識です。会計で使用される財務数値は、英語と同じように万国共通言語です。監査法人時代に培った経験を活かして、授業では、会計学の理論が実務にどのように適用されるかを講義し、また、会計学の面白さと考え方が皆さんに伝わるように、会社の経理・財務の現場では何が起きているかをお話したいと思います。皆さんが社会人として、グローバルに活躍できるためのお手伝いを、本学で出来ればと考えています。

経営学部 柳 年哉 教授



着 | 任 | 挨 | 拶 | 本年4月より、4名の教員が着任いたしました。



本年4月に経営学部に着任いたしました。

本学では、「地域振興論」「観光経営論」等の講義を担当いたします。私の生まれは鹿児島県ですが、福岡県や佐賀県での大学および研究生生活を出発点とし、愛媛県の農協での農業振興計画の策定業務や、北海道の民間の調査・研究機関での研究業務など、地域の抱える問題を、主に農業分野に焦点を当てて研究してまいりました。少子・高齢化や過疎化などの問題を抱える「地方」と呼ばれる地域において、農業は地域経済を支える重要な産業の一つであり、地域活性化の様々な取り組みの中心となりうる重要な地域資源の一つであると考えています。鳥取県を舞台として、「地方」が元気になるための方策を皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

経営学部 **山口 和宏** 講師



現在、世界中の人々が共通語として英語を使用する時代となっています。そのため、一般的な標準英語以外にもさまざまな種類の英語が使用されています。インド式英語、中国式英語、日本式英語等です。そこで、私たちも従来の英語の勉強方法を変えていかなければならなくなりました。

2021年度入試から実施される大学入学共通テストは、「読む・聞く・話す・書く」という英語の4技能を見極めるための新しい試験方法になります。従来の英単語や文法の知識を問うテストから、英語を使った表現能力を測るテストに変わります。

そのため、英語の学習理念と目的をより柔軟かつ多様に考える必要があります。4技能は、いずれも重要である事は間違いありませんが、その中でも特に「話す」に関しては、単に「話す」ということだけではなく「コミュニケーション能力」を身に付けておくことが重要です。

学生たちが様々な国の人たちと積極的にコミュニケーションが図れるよう、共に努めたいと思っております。

人間形成教育センター **徳山 瑞文** 教授



2016年4月より3年間、本学地域イノベーション研究センターの特命准教授として勤務し、この4月に人間形成教育センターの准教授に着任しました。改めまして、よろしくお願いいたします。

私は27歳の時に鳥取に移住し、ここに住み始めて今年で18年目になります。その間、私の専門である「海」「魚」「水産業」を通して、この地の美しい自然とふれあい、そして多くの人と出会いました。鳥取は自然の豊かさと人の優しさを感じることが出来る素晴らしい所で、住めば住むほどこの地域が好きになります。学生の皆さんとこの鳥取の素晴らしさを共有できるよう、一緒に学外に出て行きたいと思っております。私の専門のことに限らず、どんなことでも気軽に相談していただければ嬉しく思います。

人間形成教育センター **太田 太郎** 准教授



File1

自然環境を測定しよう♪

ここ数年、「AI」や「IoT」などの言葉が多く使われ、通信・センシング技術は著しく発展してきました。今日では、スマートフォンやそれにつながるウェアラブルデバイスの利用により最新の気象データほか、日常生活における人の情報（バイタルサインの変化）が取得可能となってきました。現在、我々はこの小型センサを用いて、都市環境問題の一つであるヒートアイランド現象の観測をはじめ、都市内の公園（緑地）がもたらすヒートアイランド抑制効果について



定量的に明らかにし、都市計画を進めるうえでの基礎資料づくりにチーム一丸となって取り組んでいます。

一方で、日常生活における人の情報を取得することにより、「どのような環境変化・負荷があったときに、生体反応が起こったのか」について時系列かつ個人毎に追従することが可能となってきました。そこで、森林セラピーを楽しめる「森林セラピー基地」と「セラピーロード」および都市内の大規模公園を対象として、気象観測を実施しながら、緑地のもつ「癒し効果」を気象学的観点から定量的に検証しています。さらに、この気象観測ネットワークを利用した気象災害予測に取り組んでいるほか、データ活用の一環として市民の気象防災教育にも力を入れています。

重田研究室では、人と自然・社会環境との関係について“実践的な研究”をおこない、人々の健康で快適な生活に役立つような成果を得ることを目標にしています。気象学を主体として多くの分野と複合的な研究をしてお

り、様々な大学・研究所・企業とも共同で取り組んでいます。“気象楽”として研究を心から楽しめる「チャレンジングでフロンティアスピリットに溢れる人」と出会えることを日々楽しみにしています。研究室での活動は決して楽（らく）ではありませんが、自信をもってお勧めできる楽しい研究室です。



環境学部

重田 祥範 准教授 博士(理学) 岡山県出身

専門 | 局地気象学、生気象学、自然地理学、地学教育

局地気象学・生気象学が専門。都市ヒートアイランド現象の調査や局地風観測などフィールドワークが得意。気象観測中に様々な動植物に遭遇することが楽しみ。鳥取県の山中ではツキノワグマにも出会った。

File2

「戦略的」に生きることの重要性を理解し、努力し続けることで得られる達成感を味わってほしい

「技術で勝ってビジネスで負ける」を何とかしたい！が、研究テーマ



経営学部

光山 博敏 准教授

専門 | 技術経営、技術戦略、国際戦略経営

日本のものづくり産業は、世界トップ水準の「製造技術」を有しているにもかかわらず、技術力が十分に収益性と結びついていないという課題を抱えています。「技術で勝ってビジネスで負ける」といった、戦略不全の経営から脱却し、技術力に見合う収益性の確保と持続的な競争優位を実現するための技術戦略について研究を続けています。

潜在的なニーズを見極める「目利き力」がポイント

企業が存続していく上で大切なことは、市場ニーズを見極め自社の強みを活かして顧客価値を創造することです。しかし、多様化する顧客価値や加

速度的に変化する市場では、「昨日までの成功体験が明日には通用しない」、なんてことも少なくありません。ポイントは、単に顕在化しているニーズに応えようとするのではなく、市場に埋もれている潜在的なニーズを掘り起こす「目利き力」にあると言えるでしょう。

「迷ったらGO!」の精神で、「一歩目を踏み出す勇気」をもって!

不確実性高まる競争環境下において多くの企業が求める人材とは、「0から1」を創造できる人材です。AIやロボットなどを活用した合理化が益々進展していく現在、皆さんが実務家として活躍していくためには、学生時代から如何に「本物」（「質の高い本」、「競争力のある会社」など）に触れ、そこからどれだけ多くのことを「感じ」、「考え」、そして「学び取る」

（インプット）ことができるのかが求められるのです。つまり、大学時代から戦略的にタイムマネジメントし、目標に向かって努力し続けることが重要になるのです。大学では「迷ったらGO!」の精神で、「一歩目を踏み出す勇気」をもって積極的に行動し、様々な力をつけてほしいと思います。



ゼミでは、県内、県外を問わず競争力のあるメーカーへのインタビュー調査を積極的に行っています。（島根富士通様にて）



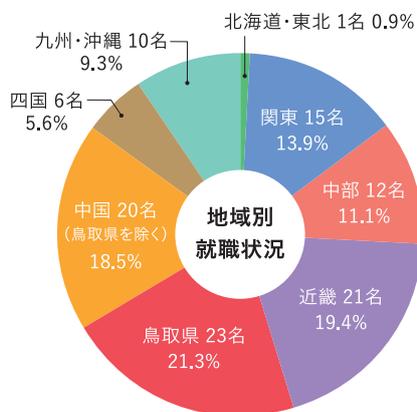
2019年3月卒業生の就職・進学先一覧を掲載しました。
 きめ細かな就職サポートの結果、就職内定率は99.1%となりました。

環境学部 就職・進学先一覧

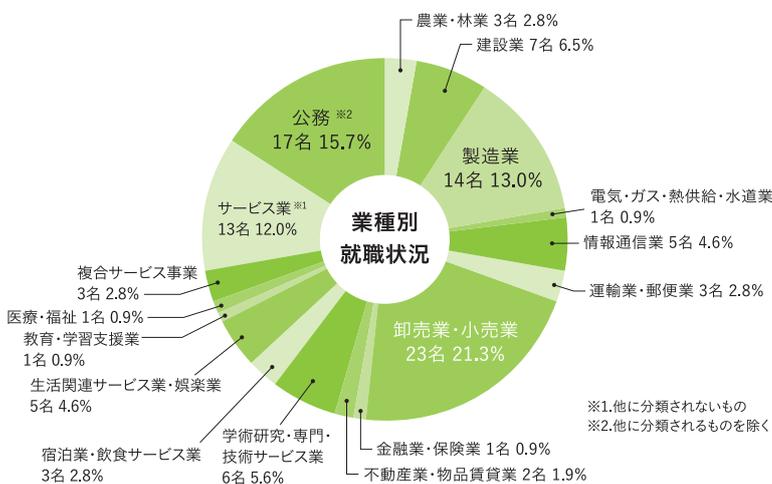
【公務】阿南町(長野県)/大阪府(教員)/京都府(教員)/熊本県/航空自衛隊/鳥根県/鳥取県(林業)/鳥取県警察/鳥取市/豊川市(愛知県)/東広島市(広島県)/兵庫県(教員)/福島県/三豊市(香川県)/三好市(徳島県)/八頭町(鳥取県)

【一般企業】〈農業・林業〉あめかわ農園/西日本ジェイエイ畜産/みんなの牧場 〈建設業〉ウツスカンパニー/木下エネルギーソリューションズ/鳥根電工/高木造園/トクデン/永森建設/広築 〈製造業〉愛知時計電機/院庄林業/エイ・ダブリュ工業・若狭/オカネツ工業/カンケンテクノ/三和ドック/ダイハツ九州/トヨ/内海機械/南国興産/ホーコス/ポニー工業/三浦工業/山崎製パン 〈電気・ガス・熱供給・水道業〉シン・エナジー 〈情報通信業〉NTTデータ・ビーンサービス/トヨデンサン/中広/ライコー/両備システムズ 〈運輸業・郵便業〉西日本旅客鉄道/日本交通/日本郵便 〈卸売業・小売業〉アベックス/イズミヤ/岡山ダイハツ/ガスバル/コスモネット/サナダ精工/山陰酸素工業/ゼニライトバイ/ダイネン/ダリア/ツカサ/津田産業/ナッシュ/ナフコ/日興商会/はなふさ/平林金属/フジ/マックスパリュ九州/マルイ/矢崎総業/米澤自転車店/ロピア 〈金融業・保険業〉鳥根県農業共済組合 〈不動産業・物品賃貸業〉昭和住宅/山王スペース&レンタル 〈学術研究・専門・技術サービス〉エムアンドエムドットコー/スタジオアリス/静環検査センター/千/中央設計技術研究所 〈宿泊業・飲食サービス業〉サルボ両備/トリクミ/First Class Backpackers Inn 〈生活関連サービス業・娯楽業〉公園財団/鳥取県観光事業団/日本セレモニー/丸三/南都 〈教育・学習支援業〉秀英予備校 〈医療・福祉〉アースサポート 〈複合サービス事業〉鳥取いなば農業共同組合/鳥取中央農業協同組合 〈サービス業(他に分類されないもの)〉アースサポート/アウトソーシングテクノロジー/因幡環境整備/エステム/三光/成通/大栄環境/鳥取市環境事業公社/日研トータルソーシング/農山漁村文化協会/UTコンストラクション/ワールドインテック

【進学(大学院のみ)】大阪教育大学大学院/慶應義塾大学大学院/公立鳥取環境大学大学院/鳥取大学大学院/名古屋大学大学院/北海道大学大学院



※企業名は業種別50音順/株式会社等省略/2018年度卒業生実績

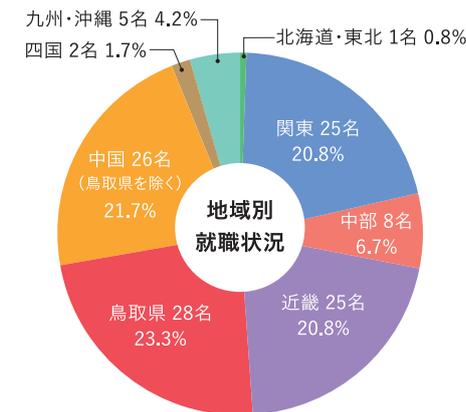


※1.他に分類されないもの
 ※2.他に分類されるものを除く

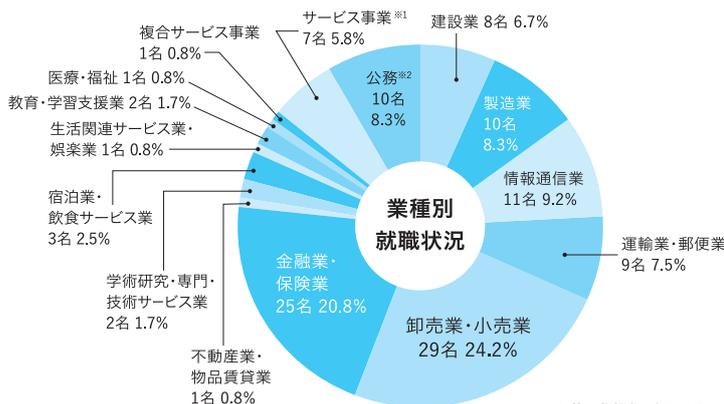
経営学部 就職・進学先一覧

【公務】笠岡市(岡山県)/倉吉市(鳥取県)/静岡県警察/高砂市(兵庫県)/鳥取県/鳥取市/姫路市(兵庫県)/福岡県警察/安来市(鳥根県)/八頭町(鳥取県)

【一般企業】〈建設業〉安藤嘉助商店/イズ/若水開発/金下建設/大和ランテック/日本eリモデル/秀光ビルド/マツウ 〈製造業〉アイエム電子/井ヶ谷竹内/出雲村田製作所/寿製菓/大山どり/東京エレクトロン/久商/ポッカサッポロフード&ビバレッジ/山崎製パン 〈情報通信業〉ケイズ/コロプラ/ゴンゾ/サイネックス/就職情報センター/東芝情報システム/東都システムズ/鳥取県情報センター/日本海ケーブルネットワーク/日本ラッド/LASSIC 〈運輸業・郵便業〉EAS/伊勢湾倉庫/長崎自動車/西日本ジェイアールバス/西日本旅客鉄道/東日本旅客鉄道/日本郵便 〈卸売業・小売業〉アダストリア/いすゞ自動車中国四国/エパルス/エレコム/カードキングダム鳥取駅前店/ガスバル中国/京都きもの友禅/ケーオウエイ/Genky DrugStores/コニシ/山陰酸素工業/ジンス/スズキ自販鳥取/セイエル/ダイロン/ダイハツ広島販売/デジタルホールディングス/ナンパホームセンター/日興商会/松本油店/バルコムモーターズ/ハローズ/ハンズマン/BANKAN わのまや/藤田商店/ベネフィットジャパン/マルイ 〈金融業・保険業〉おかやま信用金庫/かんぼ生命/北日本銀行/クレディセゾン/山陰合同銀行/山陰信販/しまね信用金庫/第一生命保険/大山日/丸証券/中国銀行/津山信用金庫/TOKAIホールディングス/鳥取信用金庫/播州信用金庫/明治安田生命保険/山口フィナンシャルグループ/ゆうちょ銀行 〈不動産業・物品賃貸業〉エーステートセンター 〈学術研究・専門・技術サービス〉インテリジェンスオフィス/富士技術開発 〈宿泊業・飲食サービス業〉アバグループ/タリーズコーヒージャパン/鮎里ホテル 〈生活関連サービス業・娯楽業〉マルハン 〈教育・学習支援業〉アイオ/ロイヤルコーポレーション 〈医療・福祉〉松寿苑 〈複合サービス事業〉えひめ中央農業協同組合 〈サービス業(他に分類されないもの)〉イーウェル/ALL CONNECT/JCBエクセ/JPTツウェイコンタクト/DSP/夢真ホールディングス/ワールドインテック



※企業名は業種別50音順/株式会社等省略/2018年度卒業生実績



※1.他に分類されないもの
 ※2.他に分類されるものを除く



国際交流プログラム

本学では、海外大学との交流協定に基づき、様々な学生交流プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験は、語学力や国際感覚を磨くだけでなく、視野の広がりや自己成長のきっかけとなっています。



初!カッセル大学への海外短期研修

本学とカッセル大学は、両大学の教育・研究などの分野における学術的・文化的交流の発展を目指し、2019年4月に覚書を締結しました。

カッセル大学はドイツの中央部にあたるヘンセン州・カッセル市に位置し、1971年に設立されたドイツでは比較的新しい州立大学です。学生数はおよそ24,000人で、特に環境工学に長けており、学部は土木工学、建築・都市計画・ランドスケーププランニング、経済学などの11学部があります。

まずは、第1回目の研修プログラムを2019年8月下旬から3週間行い、本学学生10名が参加します。本研修プログラムは、カッセル大学で、ドイツのツーリズム、産業、再生エネルギーなどのテーマを経営と環境の両側面から英語で学び、専門的な内容を英語で理解し、発信する力を培います。本学で初めてとなる英語中級レベル程度以上(CEFR B1レベル)を対象とした海外短期研修です。今後もドイツの環境と経営の専門分野について英語で学べる研修プログラムを相互協力により実施していく予定です。



▲ カッセル大学キャンパス



▲ カッセル大学キャンパス内の様子

◆ 本学の語学留学プログラムは、他にも・・・

アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、韓国、中国の大学への研修も設けています。(短時間で集中的に語学研修と文化体験ができるよう開設しているプログラム)

留学生支援 留学生の親睦歓迎会を行いました

今年入学した外国人留学生が早く本学に馴染んで円滑に学生生活を送ることができるよう2019年5月31日に親睦歓迎会を行いました。会には日本人学生、在学外国人留学生及び江崎学長をはじめとする教職員も参加して、お互いの国の文化について話したり、大学や鳥取での生活について質問するなどして、楽しく談笑する姿が見られました。今後もこのような外国人留学生と日本人学生の交流の場などを通じて、互いの文化を理解し合い、国際的に活躍できる人材の育成を目指します。



▲ 留学生の親睦歓迎会の様子



剣道部

私たち剣道部は、男子13名女子8名の計21名で活動しています。剣道の理念である「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」を基に稽古をし、剣道を通し礼儀作法を学び、体力の向上を目的に稽古に努めています。現在私たちは未経験者が多く、大会に出る機会を得ていません。そのため今は、各個人の技術を上げるための稽古に励んでいます。各々自覚を持ち、集中し、練習をしています。仲間と共に自分の苦手な部分を直し、得意な部分が伸ばせるようお互いに教えながら高めあっています。更に今年度は近隣の大学等と合同練習を計画しており、経験と自信を深めていきたいと思っています。いずれは大会に出場し、さまざまな団体と試合をしていきたいと考え稽古をしています。応援よろしくお願ひします。

代表: 袴田 樹 (経営学部 3年)



ヤギ部

私たちヤギ部は名前の通り、ヤギとともに活動するクラブです。主な活動はヤギのお世話です。また、老人ホームや地域のお祭りといった場所で外部の方と交流を行っています。ヤギのために励み、同時にヤギに癒される。そんな部活です。ヤギ部は現在、大勢の部員が在籍する大所帯であり、もともと在籍していた上級生にくわえ、すっかり部になじんだ1年生で大賑わいです。そんな部員とともに活動してくれている5頭のかわいいヤギたちも、日々のんびり過ごしています。ヤギ部の活動目標として、「ヤギを通して環境問題について学び、考える。と同時にヤギの魅力も知る。そしてそれを多くの人に知ってもらう。」を掲げ、これからも頑張っていきますので、応援よろしくお願ひします。

代表: 平木 藍香 (環境学部 2年)

学友会 活動報告

5月31日(金)に2018年度学友会総会を開催し、令和元年度の役員及び事業計画が承認されました。

2019年度学友会運営体制

学友会会長	中島 うい (経営学部 2年)
学友会副会長	末次 映海 (環境学部 2年)
学友会書記長	犬塚 大智 (環境学部 2年)
学友会会計長	福崎 礼一 (環境学部 2年)
学生EMS委員会委員長	安宅 悠基 (環境学部 2年)
クラブ会委員長	井畑 沙香 (環境学部 2年)
大学祭実行委員会委員長	西原 綾菜 (環境学部 2年)
卒業アルバム製作委員会委員長	古川 真矢 (環境学部 2年)
TUESちゃんちゃん愛好会委員長	萩原 千春 (環境学部 2年)
新入生歓迎会実行委員会	10月発足予定
卒業記念事業実行委員会	11月発足予定

※任期: 2019年6月1日~2020年5月31日
 ※新入生歓迎会・卒業記念事業の各委員会は非常設運営委員会

2019年度学友会執行部及び運営委員会年間事業計画

事業	執行部及び各運営委員会常時活動
6月	ヒアリング(クラブ会) スポーツ大会(クラブ会)
7月	第15期卒業生への卒業アルバム発行(卒業アルバム製作委員会) JUMP~日本列島を軽くしよう~(学生 EMS 委員会) 学内清掃(学生 EMS委員会) 第I種会(クラブ代表者会議)(クラブ会) 第III種会[ローテーション会議](クラブ会)
8月	鳥取ちゃんちゃん祭(TUES ちゃんちゃん愛好会)
9月	環境マネジメント全国学生大会(学生 EMS 委員会) 環境管理活動説明(学生 EMS委員会) ミニ環謝祭(大学祭実行委員会)
10月	内部監査(学生 EMS 委員会) 環謝祭(大学祭実行委員会) 第III種会[ローテーション会議](クラブ会) 新入生歓迎会実行委員会発足(執行部)
11月	TOYOTA SOCIAL FES!!2019(学生 EMS 委員会) 卒業記念事業実行委員会発足(執行部) スポーツ大会(クラブ会)
12月	年末大掃除(学生 EMS委員会) 令和元年度決算審議開始(執行部及び各運営委員会) 第I種会(クラブ代表者会議)(クラブ会) 第III種会[ローテーション会議](クラブ会)
2020年1月	2020年度予算審議開始(執行部及び各運営委員会)
3月	卒業記念パーティー(卒業記念事業実行委員会)
4月	新入生向け学友会レクチャー(執行部) 環境管理活動説明(学生 EMS 委員会) 新入生歓迎会・学内探検(新入生歓迎会実行委員会) サークル運営説明会議・第III種会[ローテーション会議](クラブ会) 学外清掃(学生 EMS委員会)
5月	2019年度学友会定例総会(執行部及び各運営委員会)



プロジェクト名

鳥取県における環境コミュニケーション

本プロジェクト研究では、鳥取県で実施されている環境コミュニケーションを調査・分析することを通じて、環境コミュニケーションとは何かについて多角的に考えていきます。環境コミュニケーションといえば、環境問題を未然に防ぐため、様々な



▲ さじアストロパークにて、星空観察を実体験。

ステークホルダーが行うコミュニケーションを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。本プロジェクト研究の特徴的な点としては、環境コミュニケーションを、「持続可能な社会の実現のために行われる相互的なコミュニケーション」であると捉え直している点があげられます。

今回のプロジェクト研究では、「観光施策」と昨今話題の「関係人口」を切り口にして、各グループ、調査を進めています。現時点では、さじアストロパークや浦富海岸、砂の美術館、鳥取県庁様などを訪問し、観光の現場の側面とともに行政の側面も含めて、インタビュー調査や現地調査を行っています。次回は本プロジェクト研究参加者全員で大江ノ郷自然牧場に行き、実際に様々な体験をすることで、「関係人口」の観点から、大江ノ郷自然牧場の活動を考察する予定です。

学生 여러분は、私の専門であるグループ・ダイナミクスの研究における方法論や手法、社会心理学における様々なコミュニケーションの捉え方(理論や概念)などについての学術的な内容を最初の数回で簡単に学びます。その後、皆さんの関心に基づいて、3つのグループに分かれて、研究計画をたてていき、調査を行っていきます。各グループの2年生からリーダーと副リーダーが選ばれ、彼らのリーダーシップのもと、自主的に活動を行っていきます。本プロジェクト研究では、環境社会心理学の入り口に触れていただくとともに、調査活動を通して、2年生はリーダーシップを、1年生は協働のあり方も学んでいきます。

学生の皆さんは、私の専門であるグループ・ダイナミクスの研究における方法論や手法、社会心理学における様々なコミュニケーションの捉え方(理論や概念)などについての学術的な内容を最初の数回で簡単に学びます。



▲ 浦富海岸にて、浦富海岸島めぐり遊覧船を実体験。



▲ 賀露港にて、賀露港散策を実体験。

プロジェクトアドバイザー 環境学部 甲田紫乃 講師

プロジェクトメンバー
(環境学部) 1年: 石井秀空、今井麗奈、大野治、鶴岡彩希
2年: 中村千仁、西原綾菜、橋本尚人
(経営学部) 1年: 賀来明日香、軽尾有紗、大瀧豊、今峰佐紀人
2年: 常田純悟、中島うい、新田空、新美翔之介

[SDGs]

環境学部重田研究室が 鳥根県美郷町及び 株式会社テクノシステムと 包括連携協定を締結しました



2019年4月24日、環境学部重田研究室(准教授 重田祥範)と鳥根県美郷町(町長 嘉戸隆)及び株式会社テクノシステム(代表取締役 日野幹雄)は、相互に有する資源を共有し、相互の発展と地域の活性化を図るためのパートナーシップ協定を締結しました。

今後、重田研究室では、美郷町が防災対策として設置している高密度気象観測システム「POTEKA(ポテカ)」により観測されたデータを用いて雲海の発生を予測し、同町は予測情報を公開し、観光資源として活性化することを目指します。

このほか、ゼミ活動やフィールドワークなどを通じて、農業分野や観光分野等での地域活性化に資する研究を行うなど、気象を活かした持続可能な地域社会形成の取り組みに貢献して行くこととしています。この取り組みについては、新聞各紙でも大きく取り上げられました。



▲ 左から 重田准教授・嘉戸町長・日野社長

2019年度 公立鳥取環境大学 学部・大学院入学式を挙

2019年4月4日(木)、とりぎん文化会館梨花ホールにおいて、入学式を挙行了しました。学部生299名(環境学部141名、経営学部



158名)、大学院生3名が入学しました。

式典では、学部新入生代表の澤口未羽さんと、大学院新入生代表の稲森涉さんがそれぞれ入学生宣誓を行い、澤口さんは「経営者と利用者が互いに利益を得るだけでなく関わるすべての地域の人々の生活がより豊かになる、地域経営学を身に付けたい」と、今後の意気込みを述べました。

歓迎セレモニーでは、TUES しゃんしゃん愛好会による鳥取の伝統芸能である傘踊りと、和太鼓部による勇壮な演技が行われ、賑やかな鈴の音と力強い太鼓の音が会場に響き渡りました。



▲ 学部新入生代表 澤口未羽さん



▲ 新入生の皆さん



▲ 歓迎セレモニー

2019年春の叙勲を横山伸也 サステナビリティ研究所長が 受章されました

2019年春の叙勲において、横山伸也サステナビリティ研究所長が瑞宝小綬章を受章されました。謹んでお祝い申し上げます。

横山伸也サステナビリティ研究所長

は2011年に本学へ着任し、バイオマスエネルギー、再生可能エネルギー等の講義を担当する等、後進の教育に当たるとともに、2018年よりサステナビリティ研究所長を務め、本学の地域貢献活動に尽力されています。



▲ 横山伸也サステナビリティ研究所長

公立鳥取環境大学における 敷地内禁煙の実施について

2018年7月25日付けで健康増進法の一部を改正する法律が公布され、望まない受動喫煙をなくすため、2019年7月1日から学校・病院及び行政機関等では、喫煙が禁止とされました。

今回の法律の改正を受け、本学においても、2019年7月1日から敷地内禁煙を実施しています。



▲ 全面禁煙についての提示

環境学部・本の紹介

環境学部では、高校生はもちろん、一般の方にも、「大学の研究室とはどんなところか、日常どんなことがされているのか?」、「主に研究活動の中で、学生と教員とはどんな接し方をしているのか?」、「環境問題への対応としてどんな研究がなされているのか?」、「本学環境学部はどんな特色をもっているのか、どんなとこ



ろを大切にしているのか?」といったことが分かりやすく伝えられるような本を出版しました。学部のほぼ全員の教員が、エッセイ風に、でも専門分野の内容は外さず書いています。朝日新聞に掲載された記事(2019年5月14日)の一部では、本書について以下のような紹介がされています。

『森林資源管理学の研究を説明する回では、教授自らが大学がある若葉台の森を「教育や憩いの場として利用できないか」とやぶをかき分けて歩いているうちに遭難しかけた話や学生と道づくりをしたエピソードが盛り込まれている。

海洋微生物学研究的回では、学生が解析機器を借りる大学に資料を忘れて行ってしまったエピソードを引き合いに、DNAによる遺伝子解析などの研究内容が記されている。』

(環境学部長 小林 朋道 教授)

経営学部・本の紹介

「地方創生のための経営学入門」についてご紹介します。この発端は、1年生の講義「経営学入門」のテキストとして、地方の中小企業の特徴や実態を

踏まえた経営学の入門書を学部の有志で作ろうとしたことです。内容を議論するうちに、実務家の方にも読んでいただける入門書を目指すこととなりました。これまでの経営学の入門書は、主に大企業の組織や仕組みを例にするため、地方の中小企業にとって参考にならない面が多々ありましたが、本書であれば親しみを覚えていただけたらと考えたのです。なお、執筆陣は全員経営学部の教員です。

他に、地域経済や地域経営など経営学の入門書ではほかに類を見ない内容を取りあげていることも特徴です。かえて本としての統一感は乏しくなりましたが、興味のあるところから学べるようになってきました。ぜひ手に取っていただければ幸いです。

(紹介文作成 経営学部 倉持 裕彌 准教授)



詳しくは各お問い合わせ先へご連絡ください

公開講座



公開講座 2019

本学では一般の方を対象とした公開講座を実施しています。ぜひ、ご参加ください(要事前申込)。

- 日程：主なスケジュール参照
- 会場：とりぎん文化会館 他

お問い合わせ 企画交流推進課
TEL 0857-38-6704
E-mail event@kankyo-u.ac.jp

大学祭

第19回 環謝祭(大学祭)

アーティストによるコンサートや芸能人によるトークショー、参加団体による出店やユニークなパフォーマンスステージなども予定しています。

- 日程：2019年10月19日(土)・20日(日)
- 会場：公立鳥取環境大学

お問い合わせ 大学祭実行委員会
E-mail gakusai@kankyo-u.ac.jp
HP <http://r.goope.jp/kansyasai/>

@英語村のInstagram開設について

英語村がInstagramを始めました!主にイベントやアクティビティの様子を投稿します。ぜひフォローしてください!



アカウント名:tues_englishvillage

お問い合わせ 英語村 アカウントQRコード
TEL 0857-38-6830
E-mail village@kankyo-u.ac.jp

主なスケジュール(2019年9月から2020年3月まで)

毎週木曜日 毎週月・水曜日	まちなか英語村(まちなかキャンパス) ミニ里山生物園(まちなかキャンパス)	
9/5	公開講座 TOEIC®で伸ばす英語実践力(まちなかキャンパス)	企画交流推進課
9/12	公開講座 TOEIC®で伸ばす英語実践力(まちなかキャンパス)	企画交流推進課
9/13	3年次編入入試(環境)・大学院入試(1期)	入試広報課
9/13	公開講座 中小企業による新製品サービス開発の成功要因(まちなかキャンパス)	企画交流推進課
9/14	公開講座 今、環境を汚染しているものは何だろう?(とりぎん文化会館)	企画交流推進課
9/19	公開講座 TOEIC®で伸ばす英語実践力(まちなかキャンパス)	企画交流推進課
9/21	公開講座 自由貿易体制の展開と限界(倉吉交流プラザ)	企画交流推進課
9/24	後期ガイダンス	学務課
9/24~9/27	履修登録期間	学務課
9/26	公開講座 TOEIC®で伸ばす英語実践力(まちなかキャンパス)	企画交流推進課
9/30~10/4	履修科目変更期間	学務課
10/5~10/6	AO入試(学内立入禁止)	入試広報課
10/12	公開講座 今、環境を汚染しているものは何だろう?(西部サテライトキャンパス)	企画交流推進課
10/18	月曜日の授業日/午後休講	学務課
10/21	午前休講	学務課
11/6	月曜日の授業日	学務課
11/9	公開講座 地域で活きる人財の育成(西部サテライトキャンパス)	企画交流推進課
11/16	公開講座 地域で活きる人財の育成(とりぎん文化会館)	企画交流推進課
11/16	保護者懇談会*	学務課
11/23~11/24	推薦入試(学内立入禁止)	入試広報課
12/14	公開講座 植物の生き方について考える(西部サテライトキャンパス)	企画交流推進課
12/21	公開講座 植物の生き方について考える(とりぎん文化会館)	企画交流推進課
12/24	金曜日の授業日	学務課
12/29~1/3	事務取扱休業	総務課
1/9	月曜日の授業日	学務課
1/17	センター試験前日準備(全日休講)	入試広報課
1/18~1/19	大学入試センター試験(学内立入禁止)	入試広報課
1/23	プロジェクト研究発表会	学務課
2/3~2/7	後期試験	学務課
2/13	私費外国人留学生・海外帰国生特別・社会人入試	入試広報課
2/14	3年次編入入試(経営)・大学院入試(2期)	入試広報課
2/15	公開講座 各地に眠る在来作物と地域づくりへの生かし方(とりぎん文化会館)	企画交流推進課
2/17	後期追試験	学務課
2/25	一般入試前期日程(学内立入禁止)	入試広報課
3/7	公開講座 地域格差の原因と地域の将来ー地域産業形成の歴史から地域の未来を考えるー(西部サテライトキャンパス)	企画交流推進課
3/13	一般入試後期日程(学内立入禁止)	入試広報課
3/14	公開講座 各地に眠る在来作物と地域づくりへの生かし方(西部サテライトキャンパス)	企画交流推進課
3/20	学位授与式	総務課

*発行日現在の情報です。最新の日程等は本学公式ホームページでご確認ください。
*保護者懇談会の案内は、9月下旬に成績表と合わせて発送予定です。

「公立鳥取環境大学の今」を発信!

TwitterやFacebookページなどで公立鳥取環境大学の最新情報を発信しています。パンフレットや公式ホームページでは紹介しきれないニュースや出来事など「公立鳥取環境大学の今」を発信しています。

ソーシャルメディア公式アカウント一覧
http://www.kankyo-u.ac.jp/about/social_m/